

# 御担当先生御侍史

アートメイク看護師 中村 亜由美

## 【施術クリニック】

- ・ナゴヤガーデンクリニック
- ・とよかわ皮ふのクリニック
- ・MARUクリニック
- ・ライトクリニック

貴院で抗がん剤治療前・中・後である患者様、もしくは病気や後遺症などで手の動きなどに不自由が生じ、整容を整えることが困難になった患者様が、眉の医療アートメイクを希望されております。

つきましては、下記情報の提供と施術許可をいただきたく存じます。

尚、ご同意後の施術・経過観察に関しましては、施術クリニックの責任で対応させていただきます。

別紙に医療アートメイクについて説明を添付しておりますので参考いただきたいです。

申し送り事項：化学療法前に眉アートメイク希望されております。

御担当医先生より、患者様の情報と施術の許可をいただきたく存じます。

- ・病名
  - ・ステージ
  - ・化学療法の内容（例：薬剤名、投与間隔など）
  - ・直近の採血データ（例：好中球数など）
  - ・服薬歴
  - ・G-CSFの使用の有無
- など

申し送り事項：疾患または、治療や後遺症によって整容が困難なため、眉アートを希望されています。

御担当医先生より、患者様の情報と施術の許可をいただきたく存じます。

- ・病名、手術歴、既往歴など
  - ・四肢麻痺など整容困難なエピソード
  - ・出血や感染に注意が必要な疾患や既往のある方は直近の採血データ（例：好中球数など）
  - ・服薬歴
- など

## 【医療アートメイクとは】

専用の針と色素を使用し、表皮から真皮浅層にかけて色素を注入し一定期間染色させる医療行為です。

皮膚のターンオーバーや白血球の働きなどで1~3年で薄くなっています。

1度では完成せず、2・3回施術を繰り返すことで定着させていきます。

## 【医療アートメイクでのアピアランスケアについて】

抗がん剤の使用によって髪の毛の脱毛だけでなく、眉の脱毛も生じる事で、表情の消失に伴う苦痛や、化学療法での体力低下や手のしびれなどでお化粧が難しくなります。

髪の毛の脱毛に対してはウィッグなどの対応方法がありますが、眉はメイクでのカバーが基本となります。しかし脱毛後の眉がない皮膚に眉を描く事はとても難しいです。

脱毛前に医療アートメイクを行うことで、眉毛が消失し、表情が欠損する事から生じる「精神的苦痛」を和らげる事ができます。また、脱毛後の対応も可能です。

## 【医療アートメイク対象】

- ・化学療法で眉に脱毛が予測される患者・化学療法後で眉に脱毛をきたしている患者
- ・脳梗塞などの疾患によって麻痺などが生じている患者やパーキンソン患者など、病気によって整容が困難になった患者

## 【アートメイク適応時期】

- ・化学療法 1週間前
- ・化学療法治療中患者の場合は、最終投与 3週間以降

## 【メリット・デメリット】

メリット：

- ・脱毛や表情欠損の精神的苦痛を生じさせない、軽減する
- ・入院せずに外来受診で行う事ができる
- ・美容クリニックなどをご自身で探してアートメイクの施術を受けるより、紹介価格で施術を受ける事ができる
- ・皮膚科専門医の常駐しているクリニックである

デメリット：

- ・自費診療であり、1回では完成せず、2~3回施術し完成させていく。

- ・医療行為なので、発赤・感染・出血などのリスクがある。（極稀ではございます。東京のあるクリニックでは化学療法患者78例中感染症は0例）

## 【その他】

・MRI撮影も可能ですが、色素に含まれる微量な金属（酸化鉄）に反応し、熱感や熱傷が生じる可能性がございます。可能性は稀ですが、近日中にMRIのご予定がある方は、アートメイク施術の日程を調整させていただきます。

（富田 祥一, 吉田 拓磨, 野嶋 公博, 宮脇 剛司：乳輪乳頭部へのアートメイクのMRI

検査における安全性（第2報）マウス皮膚を用いた形状の検討（原著論文）

Oncoplastic Breast Surgery 2016;1:20-24.



医療アートメイクとMRIの安全性に関する情報はこちらのQRから  
情報提供：渋谷の森クリニック様より